

取扱説明書



ラフテレーンクレーン 型式 **TR-350M-3**

適用号機 506016～

▲ 注意：この取扱説明書を読んでから操作してください。
この取扱説明書はいつでも読めるよう、所定の
位置に保管しておいてください。

株式会社 タタノ

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

▲ 周囲の安全を確認してから操作する

機械の近くに人がいると、機械の間やカウンタウエイトと障害物の間に人が挟まれる危険性があります。特に旋回操作を始める前には、機械の近くに人がいないことを確認してください。機械を動かす前にホーンを鳴らして警告してください。作業時は、機械の周りにロープを張るなど、機械の近くに人が立ち入らない措置を講じてください。

▲ 地切り操作は確実に

荷をつり上げるときは、地切り操作を確実に行ってください。

地切りの際は玉掛けロープが張った時点でいったん停止し、荷の重心をつっているか、荷が地面に固着していないか、周囲の荷や構造物などと干渉していないか確認してください。

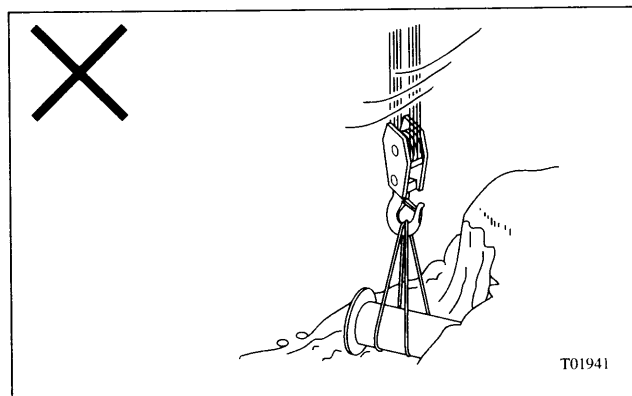
荷は垂直につり上げ、荷が地面から数cm離れたところで再度停止して荷の振れを止め、玉掛け状態や、荷がその位置で確実に保持されているか、過負荷になっていないか等を確認した後、再度つり上げてください。

▲ ブームの上げ・伸長操作による地切りの禁止

地切り操作は、必ずウインチ操作で行ってください。ブームの上げ・伸長操作による地切りは、荷振れを起こして危険です。特にブーム上げ操作による地切りは、過負荷であっても自動停止しないため、機械の損傷や転倒事故の原因になります。

▲ 無理なつり上げは行わない

埋設物や植え木、地面に打ち込まれた物を抜こうとすると、機械の各部に思わぬ荷重が加わり、機械の損傷や転倒事故を起こします。柱や杭のように地面に打ち込まれた物や、植え木や泥や砂に埋まっている物はつり上げないでください。どこからも力を受けていない状態にある物だけを、つり上げてください。



T01941

▲ つり荷の移動は慎重に

定格性能に近づくとAMLが断続の警報音で知らせます。クレーン作業は慎重にし速度を落としてください。

特に作業半径が広がるブーム下げ操作は過負荷にならないよう注意してください。

▲ 過負荷（性能オーバー）に注意

定格総荷重に近い荷をつっているときは、荷が振れると過負荷になることがあります。十分注意して操作してください。

また、作業半径が広がるブーム伸長操作・ブーム下げ操作を行うときも、過負荷にならないよう注意してください。

▲ 過負荷になったときは

過負荷になったとき、急にブームを上げたり下げたりするのは、機械が転倒しやすくなり危険です。すみやかにウインチ巻下げ操作をして、つり荷を地面に降ろしてください。

▲ つり荷走行時はクレーン操作禁止

危険性が高いため、つり荷走行中は絶対にクレーン操作を行わないでください。つり荷を動かす必要があるときは、停止してから行ってください。

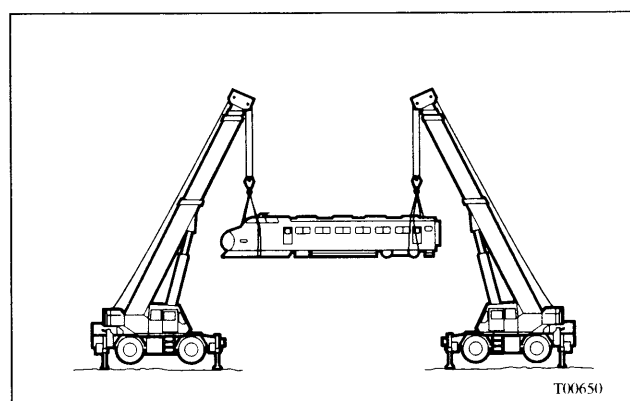
作業時の注意（特殊作業）

▲ 共つり作業は慎重に

2台以上のクレーンを使用して、共つり作業をすることは危険ですので極力避けてください。共つり作業は重心の偏りによる機械の転倒・つり荷の落下・ブームの破損など、危険性の大きい作業です。

やむを得ず共つり作業を行う場合は、下記の注意事項を順守し、細心の注意を払って作業してください。

- 作業方法などについて、事前に作業関係者と十分な打合せを行ってください。
- 作業指揮者を置き、その人の指示に従ってください。必要な場合は、関係者全員に連絡装置を持たせてください。
- クレーンは堅固な地盤の上にアウトリガを最大に張り出して水平に設置してください。
- クレーンはつり荷に対して十分余裕があり、同じ機種で同一性能のものを使用してください。そして、ブーム長さ・ブーム角度・ワイヤロープの掛け数は、すべて同じにしてください。
- 各クレーンのワイヤロープが、常に垂直になるように荷をつり上げてください。
- 各クレーンが均等に荷重を受け持つよう玉掛けしてください。
- 荷の移動はウインチ操作とブーム起伏操作で行い、旋回操作は極力避けてください。ウインチ、起伏、旋回などの同時操作は行わないでください。
- 一方のクレーンに荷重が偏らないように、運転時は各クレーンを同時に操作してください。



T00650

▲ 点検カバーなどをロックする

点検カバーなどを開けたまま放置していると、突風などで急にカバーが閉まり、挟まれてけがをする恐れがあります。

点検カバーや扉、運転室のドアなどを開けたときは、必ずロックをしてください。

▲ 工具・部品を落とさない

点検カバーを開けて下向きで作業するときは、その内部に物を落とさないように注意してください。知らないうちに物を落とすと、機械の損傷や作動不良の原因になります。ポケットには点検に必要なもの以外は入れないでください。

また、物を落としたときは必ず取り出してください。

▲ 油脂の付着に注意

クラッチ、ブレーキなどのライニングやディスクに油脂が付着すると、制動力が低下して危険です。油脂が付着しないように注意してください。

▲ ほこりに注意

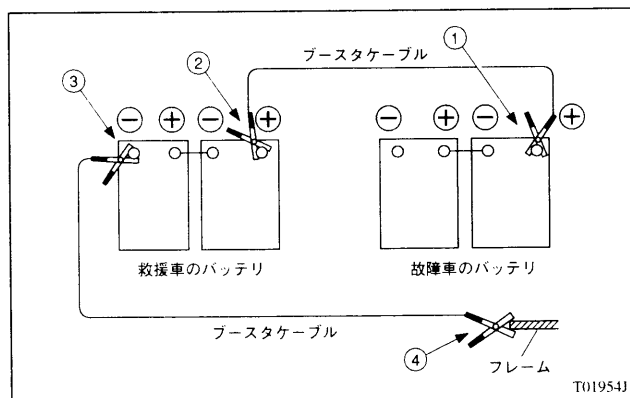
作業時に発生するほこりを吸わないでください。ブレーキおよびライニングなどの点検・整備を行うときは、最初に掃除機でほこりを吸い取ってください。圧縮空気は、ほこりが空中に飛散するので使用しないでください。

▲ ブースタケーブルによるエンジン始動

誤ったブースタケーブルによるエンジン始動は、バッテリーの爆発や機械の損傷につながります。

ブースタケーブルを使用してエンジンを始動するときは、保護眼鏡を着用してください。作業は2人で行い、1人は運転席に座り、下記の手順で行ってください。

- (1) 24 V仕様の救援車を使用してください。12 Vや48 V仕様車は使用しないでください。
- (2) 故障車、救援車ともにスタータキーは「OFF」にしてください。
- (3) ブースタケーブルを次の手順で接続してください。
 - ①：故障車のバッテリーの＋端子
 - ②：救援車のバッテリーの＋端子
 - ③：救援車のバッテリーの－端子
 - ④：バッテリーから離れた位置の故障車のフレーム
- (4) 救援車のエンジンを始動してください。
- (5) 故障車のエンジンを始動してください。
- (6) 故障車のエンジンが始動したら、ブースタケーブルを④③②①の手順で取り外してください。



▲ 電気系統の点検・整備時はバッテリーケーブルを外す

バッテリーケーブルを外さないで電気系統の点検・整備を行うと、配線がショートして電気機器や電子機器を損傷することがあります。

電気系統の点検・整備を行うときは、作業前に必ずマイナス端子側（アース側）のバッテリーケーブルを外してください。

はじめに

この取扱説明書は、下表に示したスペック番号のクレーンについて、安全で正しい取扱いと点検・整備をしていただくために編集したものです。

適用スペック番号 (下図の銘板で確認 してください。)	① TR-350M-3-00103
-----------------------------------	-------------------



T200169

銘板：クレーンキャブ側面にあります。

エンジン、エアコン、およびタコグラフの取扱いと点検・整備については、別冊の取扱説明書をご使用ください。

走行編では車両の基本的な運転方法を述べています。走行編をよく読み、車両の正しい運転方法を身につけてください。

クレーン操作編ではクレーンの基本的な操作方法を述べています。操作編をよく読み、クレーンの正しい操作方を身につけてください。運転技能は、オペレータがクレーンやその性能についての知識を深めるにつれ、向上していきます。

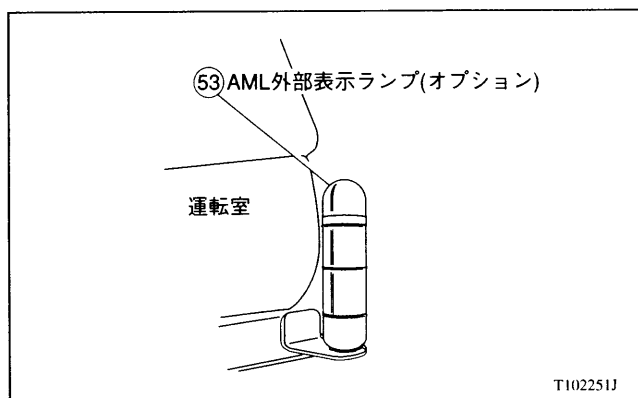
点検・整備編ではクレーンの点検・整備について述べています。クレーンの故障を最小限にし、性能を十分に発揮させるためには、適切な点検・整備を行うことが必要です。点検・整備編に従って適切な点検・整備を行ってください。

本書中のイラストは、細かい点で実際と異なっている場合があります。また、説明のためにカバーやガードを取り除いて描いている場合がありますので、ご注意ください。

車をゆずられる場合は、次の使用者のために本書を必ず車とともにお渡しください。

製品改良のため、取扱説明書の内容にない変更が行われている場合がありますので、ご注意ください。

お届けしたクレーンや本書に関して疑問な点がありましたら、最寄りの当社支店または営業所にお問い合わせください。

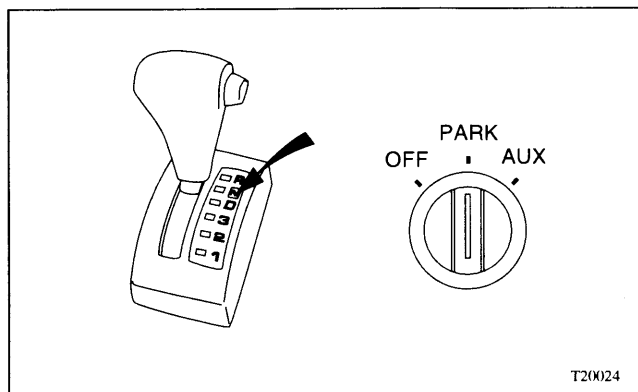


- ⑤① AML 非常スイッチP85
- ⑤② アウトリガ操作ボックス (下部)P100
- ⑤③ AML 外部表示ランプ (オプション)P96

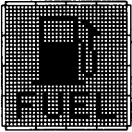
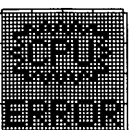
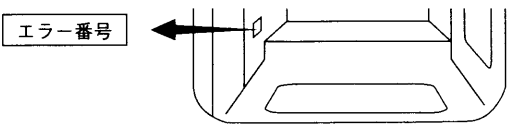

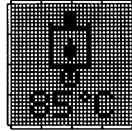


駐 車

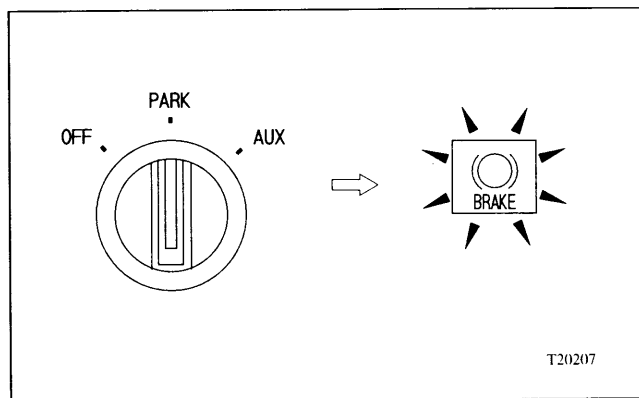
◆長時間にわたって駐車しておくと、タイヤの接地面が平らになります。走行すると元に戻りますが、走行時に振動の原因になります。長時間駐車するときは、アウトリガを設置してタイヤを地面から離しておいてください。

1. ブレーキペダルを踏み込んで車両を停止させてください。
2. ブレーキペダルを踏み込んだままで、シフトレバーを「N」にしてパーキングブレーキをかけてください。



3. ブレーキペダルから足を離してください。
4. エアコン、その他の運転室内装備を停止状態にしてください。
5. 特殊走行を行った場合は、ステアリングモードおよび駆動モードを通常モード（2輪ステアリング、高速・2輪駆動）に戻してください。
6. クレーン運転室の窓を閉じてください。
7. エンジンを停止してスタータキーを抜き取ってください。
8. クレーン運転室から出てドアをロックしてください。

集中警告表示	機器の状態	安全処置
 <p>燃料残量警告 T20032J</p>	<p>燃料タンク内の残量が少なくなっています。</p>	<p>軽油を補給してください。</p>
 <p>MDT異常 T01715J</p>	<p>多重データ転送システムに異常が発生しています。</p>  <p style="text-align: right;">T101298J</p>	<p>走行、または作業を中止し多重データ転送システムチェックスイッチを押してください。復帰しない場合は、エラー番号を確認し、最寄りの当社指定サービス工場へ連絡してください。</p>
 <p>アウトリガスイッチ中立検出 T01716J</p>	<p>アウトリガ操作スイッチが作業位置になっています。この状態で約10秒間アウトリガ操作を行わなかったときには警報ブザーが鳴ります。アウトリガ操作スイッチを中立に戻すとブザーは鳴り止みます。</p>	<p>アウトリガ操作スイッチを中立位置に戻してください。</p>
 <p>作動油温度85°C T20815J</p>	<p>作動油の温度が85°C以上になっています。</p>	<p>作業を中止して、作動油を冷却してください。</p>
 <p>AML警告 T01718J</p>	<p>AMLの停止機能が解除されています。 (PTOスイッチ「ONⅡ」、AML非常スイッチ「非常」の組み合わせで表示します。)</p>	<p>AML非常スイッチを「常用」の位置に戻してください。</p>
 <p>シリアル受信警報 T01719J</p>	<p>メータパネルのデータ受信システムに異常が発生しています。(計器類のトラブル) エンジンスタート直後に2~3秒間点灯することがありますが異常ではありません。</p>	<p>最寄りの当社指定サービス工場へ連絡してください。</p>

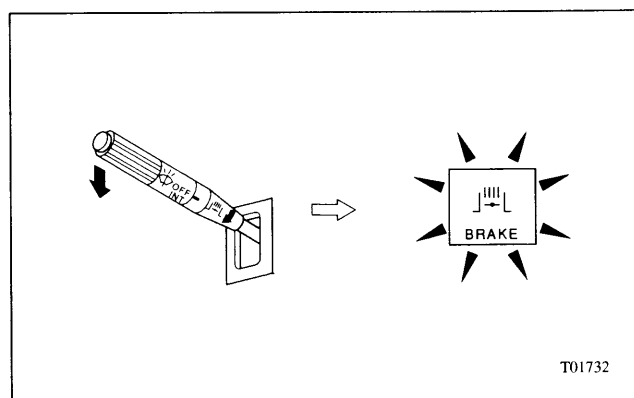


エキゾーストブレーキ操作

スイッチを引いてアクセルペダルから足を離すと、エキゾーストブレーキが作動します。アクセルペダルを踏み込むと、ブレーキは一時的に解除されます。

坂道を下るときのように強力なエンジnbrakeを必要とするときに使用してください。エキゾーストブレーキを使用しても速度が速くなるときは、シフトダウン操作してより強力なエンジnbrakeを効かせてください。

◆スイッチを引くと、エキゾーストブレーキ表示ランプが点灯します。

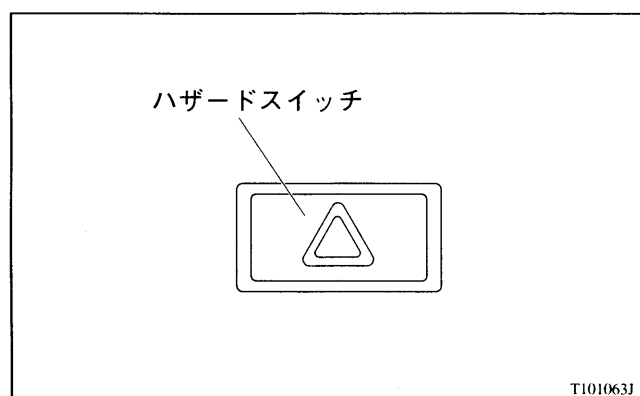


ハザードスイッチ

【留意事項】

◆エンジンがかかっていないときに、長時間使用するとバッテリーが上がります。長時間使用するときは、エンジンをかけてバッテリーが上がらないようにしてください。

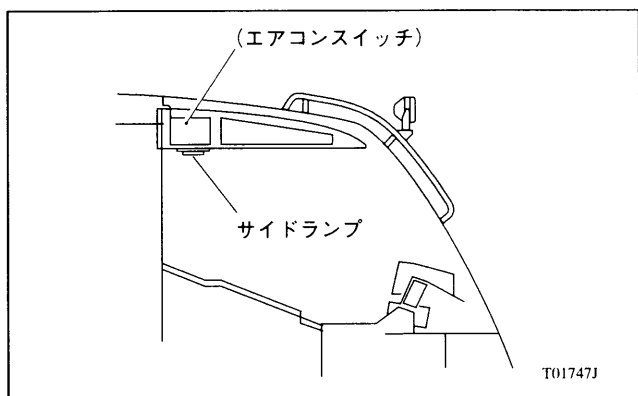
ハザードスイッチを押すと、すべてのターンシグナルランプが点滅します。再度スイッチを押すと消灯します。故障やパンク等でやむを得ず路上駐車するとき、他の車に知らせるために使用します。



ホーンスイッチ

ステアリングハンドルの中央部を押すとホーンが鳴ります。

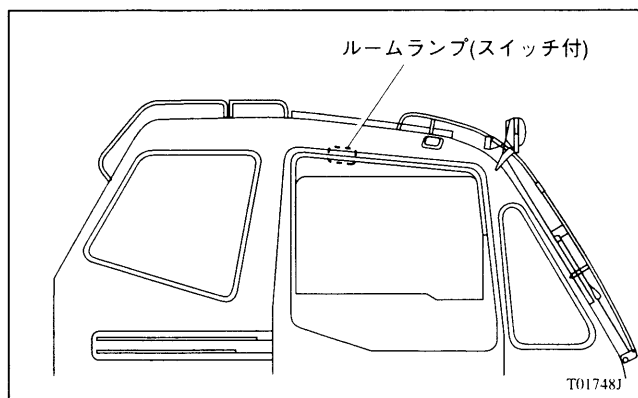
サイドランプ



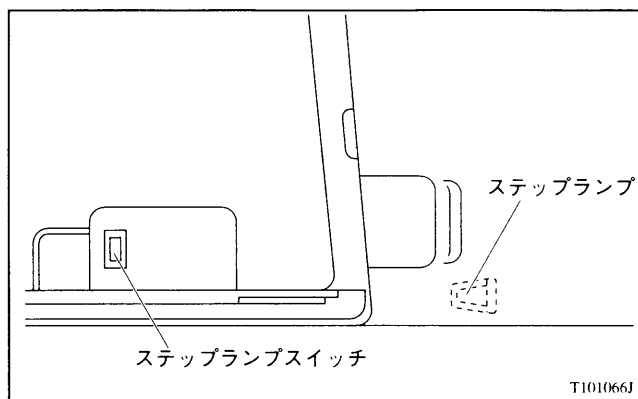
手元の操作スイッチを照明するランプです。
夜間作業時に使用してください。スイッチ付きランプです。

ルームランプスイッチ (ドアの内側上部)

- (OFF) ……ドアの開閉に関係なく消灯します。
- (中立) ……ドアを開くと点灯し、閉めると消灯します。
- (ON) ……ドアの開閉に関係なく点灯します。



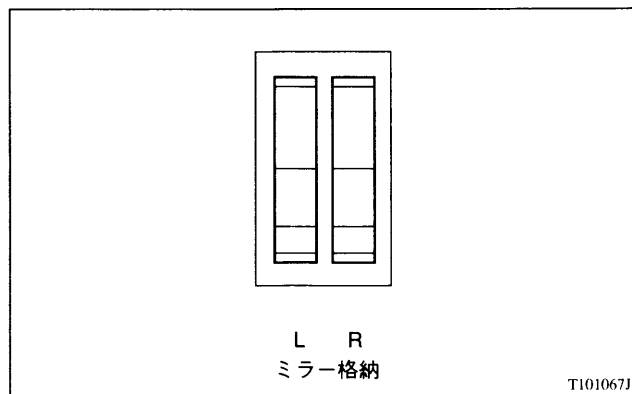
ステップランプ、ステップランプスイッチ



夜間、キャブへの乗り降り時の照明として使用します。
(OFF) ……ドアの開閉に関係なく消灯します。
(ON) ……ドアを開くと点灯、閉めると消灯します。

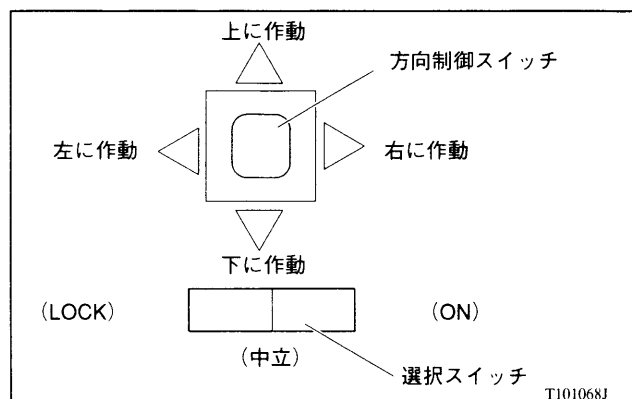
サイド/アンダミラー格納スイッチ

車両前方左右に取り付けられているサイド/アンダミラーの張出 (走行時)、格納を行うスイッチです。
スイッチの「L」側が車両の左側にあるミラーを動かします。
スイッチの「R」側が車両の右側にあるミラーを動かします。
スイッチを押すごとに張出 (走行時) と格納動作を行います。

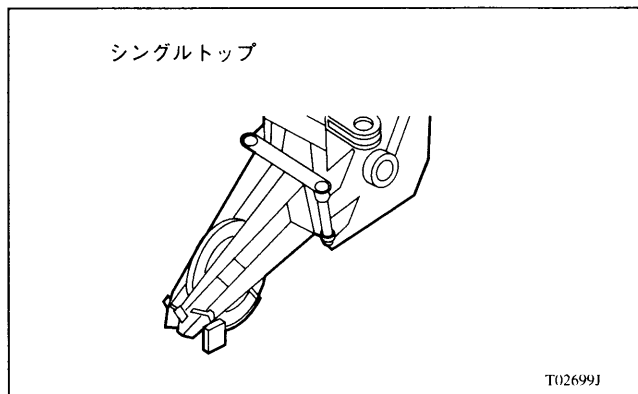


ブームミラーコントロールスイッチ

ブーム前方右側に取り付けられているミラーの方向を調整するスイッチです。
選択スイッチを「ON」側に入れて方向制御スイッチで任意の向きに変えてください。
調整完了後は選択スイッチを「LOCK」側に入れてロックしておいてください。



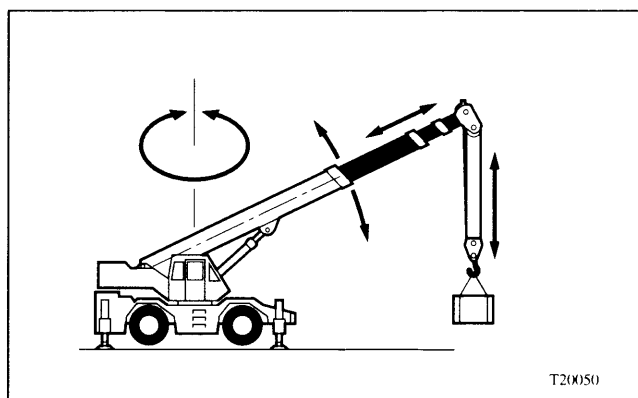
11. 必要に応じて、シングルトップを装着してください。



12. シングルトップを装着したときは、AMLにその作業状態を登録してください。

クレーン作業

1. ウインチ、ブーム伸縮、ブーム起伏、旋回の各操作を行い、荷のつり上げおよび移動を行ってください。



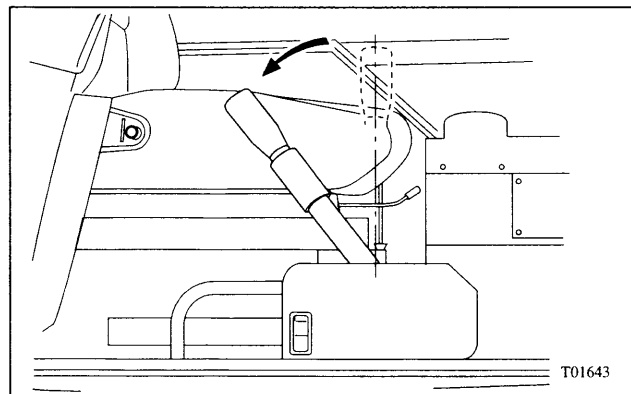
作業終了後の処置

1. シングルトップを格納してください。
2. 主巻きフックを格納位置に格納し、ブームを走行状態に格納してください。
3. 各レバーが下記の位置にあることを確認してください。
 - (1)ウインチ・伸縮・起伏・旋回の各レバー ……中立
 - (2)ウインチクラッチスイッチ ……………「ON」
 - (3)ウインチドラムロックレバー ………「ロック」
 - (4)旋回ブレーキスイッチ ……………「ON」
 - (5)旋回ロックレバー ……………「ロック」
4. アウトリガを格納してください。

5. PTOスイッチを「OFF」にしてください。

6. サスペンション「フリー」操作をしてサスペンションをフリー状態にしてください。

7. すべてのレバーの長さを最短の状態とし、乗り降り時および走行時の邪魔にならないよう後方に倒してロックしておいてください。



8. エアコンなど運転室内装備を停止状態にしてください。

9. クレーン運転室の窓を閉じてください。

10. エンジンを停止して、スタータスイッチからキーを抜き取ってください。

11. クレーン運転室から出てドアをロックしてください。

12. 始業点検に準じて終業後の点検を行ってください。異常が見つかった場合は、すみやかに修理してください。

(4)警報機能

警報条件	警報内容
巻過ぎになったとき	ブザー音：ホロホロ音
モーメント90%以上 100%未満	モーメント表示器：黄色に該当するバーグラフ点灯 ブザー：断続音
モーメント100%以上	モーメント表示器：モーメントが110%までは該当するバーグラフ点灯。110%を超えるとすべてのバーグラフ点灯 ブザー：連続音
クレーンの作動を制御する必要が生じたとき	モーメント表示器：制御メッセージを表示 ブザー：ビープ音(3秒間のみ)*1
作業範囲制限が働いたとき	該当する制限表示ランプが点滅表示 ブザー：ビープ音(3秒間のみ)*1
AMLシステム異常時	モーメント表示器：エラーメッセージを表示 ブザー：ビープ音(3秒間のみ)*1

*1：ブザー音は2種類があり、次のように区分されます。

緩停止制御時：周期が長い

ビープ、ビープ、ビープ

その他の制御時：周期が短い

ビープ、ビープ、ビープ

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

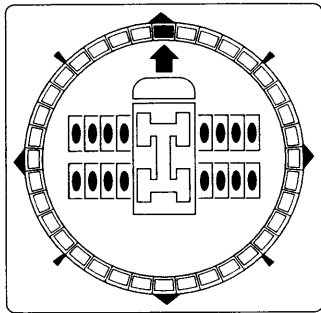
CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

(1)アウトリガ使用時

アウトリガ状態選択キーを押すと、AMLが検出しているアウトリガ張出幅を、アウトリガ状態シンボルで点滅表示します。

実際のアウトリガ張出状態と合っているかを確認し、状態が合っていればセットキーを押して登録してください。

アウトリガ状態シンボルが点灯表示に変わり、状態が正常に登録されます。

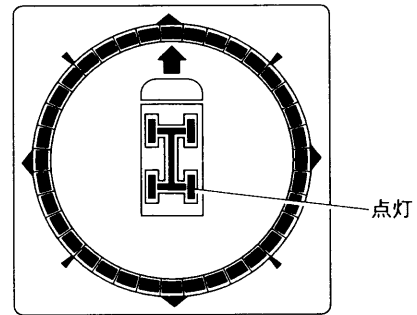


T21061

(2)アウトリガ不使用静止時

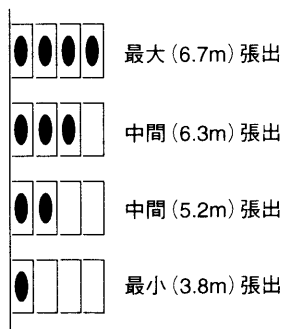
アウトリガ状態選択キーを押すとアウトリガ状態シンボルが点滅します。この状態から、さらにアウトリガ状態選択キーを押してください。アウトリガ状態シンボルの表示が消え、オンタイヤ状態シンボルが点灯する状態にしてください。

これで自動的に登録されます。



T102281J

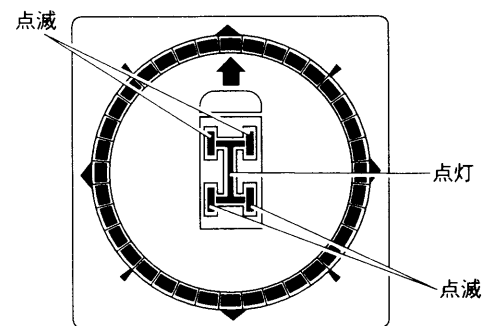
アウトリガ張出幅に対するアウトリガ状態シンボルの表示は次のとおりです。



T21062J

(3)アウトリガ不使用走行時

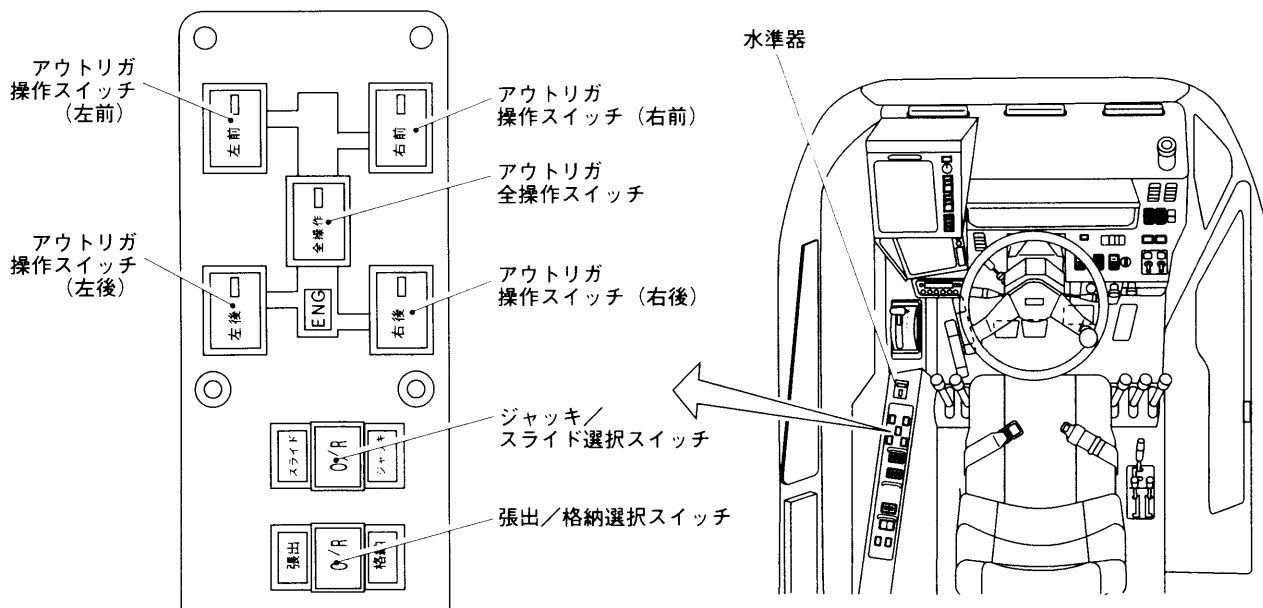
アウトリガ状態選択キーを押して、オンタイヤ状態シンボルのタイヤ部分が点滅する状態にしてください。これで自動的に登録されます。



T102282J

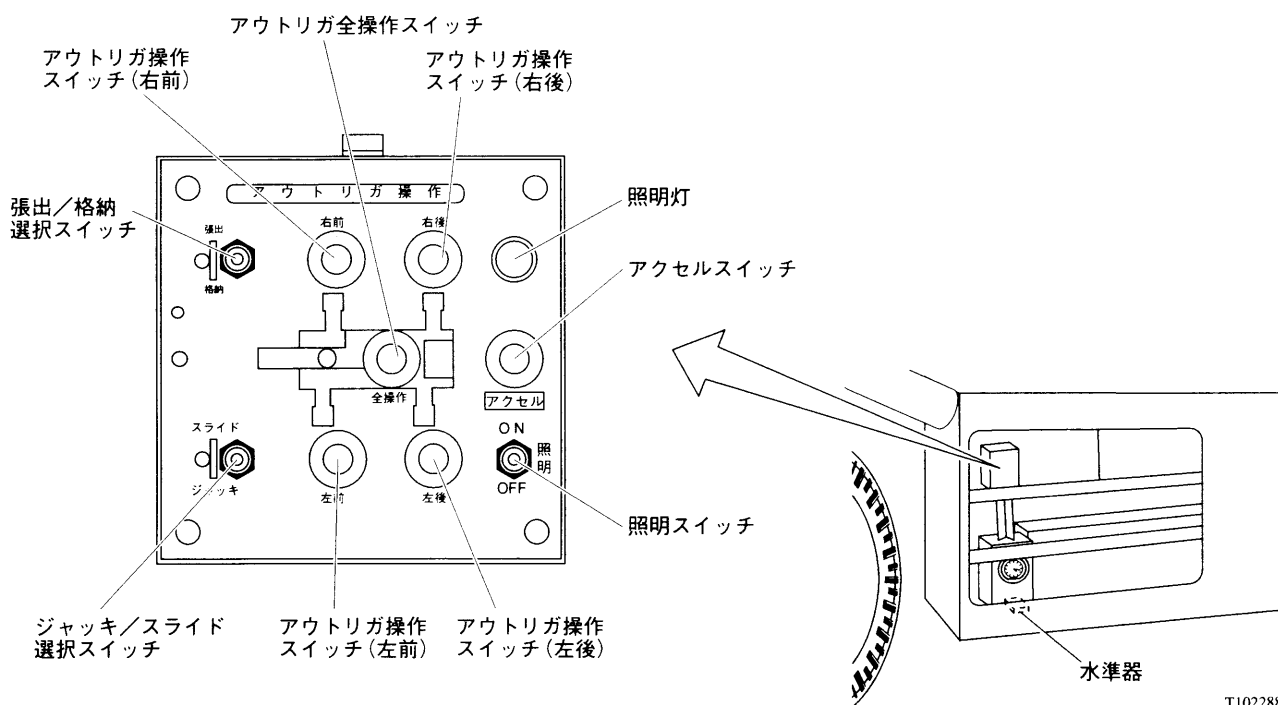
操作装置

運転室内



T03187J

運転室外



T102288J

自由降下操作

警告

▲ 荷をつった状態での自由降下操作は危険です。やむを得ず、荷をつった状態での自由降下操作を行うときのつり荷の質量は、定格総荷重の1/5以下にしてください。

▲ ウインチブレーキペダルを踏み込んでからウインチクラッチスイッチを「FREE」にしてください。

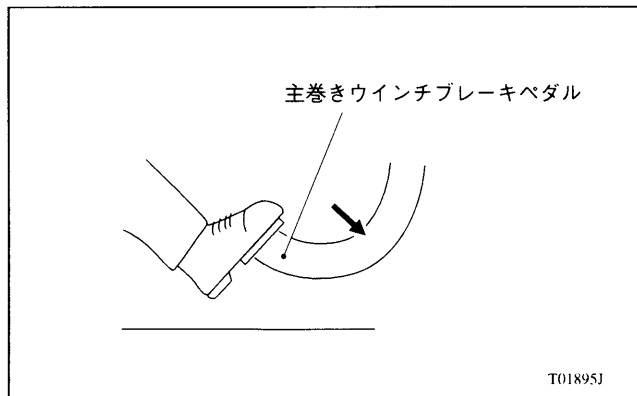
▲ 急激なウインチブレーキ操作は危険です。ウインチブレーキペダルで降下速度を調整しながら自由降下させてください。自由降下操作中は、ウインチブレーキペダルから足を離さないでください。

【留意事項】

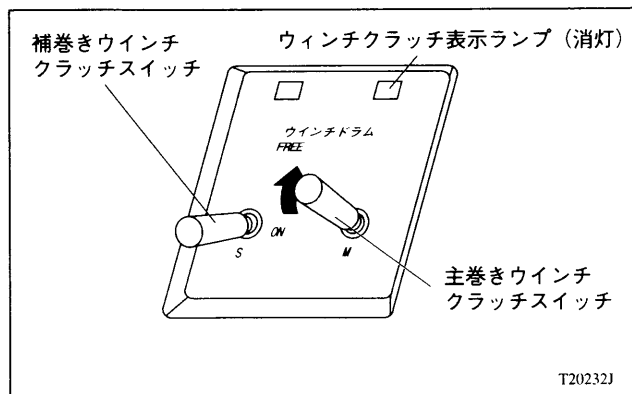
◆ 足踏みブレーキのロックはできません。荷を宙づりにするときには、ドラムロックレバーを「ロック」にする、またはウインチクラッチスイッチを「ON」にしてください。

主巻きウインチ操作

1. 主巻きウインチブレーキペダルを軽く踏み込んでください。

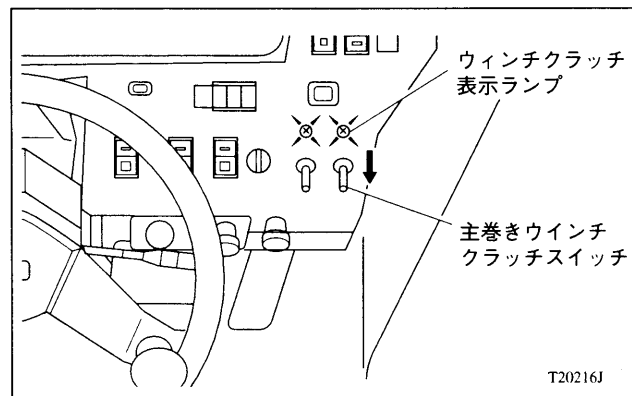


2. 主巻きウインチクラッチスイッチを「FREE」にしてください。主巻きウインチクラッチ表示ランプが消灯します。



3. 足にショックを感じるまで主巻きウインチブレーキペダルを踏み込んでください。ウインチブレーキペダルを徐々に緩め、フックを自由降下させてください。フックを停止させるときは、ウインチブレーキペダルを徐々に踏み込んで停止させてください。

4. 自由降下操作が終われば、主巻きウインチクラッチスイッチを「ON」にし、主巻きウインチクラッチ表示ランプの点灯を確認してください。



5. 主巻きウインチブレーキペダルから足を離してください。

補巻きウインチ操作・第3ウインチ

主巻きウインチ操作と同じ要領で行います。

主巻きウインチ操作の項を参照し、それぞれのペダル、スイッチ、レバー類を補巻きウインチ用に置き換えて操作してください。

◆ 第3ウインチの自由降下操作が行えるのは、第3ウインチが自由降下装置付仕様の場合です。

アウトリガ不使用（アウトリガなし） 作業操作

警告

▲ ブーム長さ22.9m以内のブーム作業およびシングルトップ作業のみ可能です。

ブーム長さが22.9mを越えてのブーム作業およびシングルトップ作業は禁止します。

▲ タイヤのエア圧が規定値であることを確認してから作業を行ってください。

アウトリガ不使用時の定格総荷重値は、タイヤのエア圧が規定値であることを前提にしています。

▲ 自由降下操作は禁止します。

▲ 旋回フリースイッチは必ず「OFF」にしてください。旋回フリー状態での旋回操作は禁止します。

▲ 旋回自動停止機能は旋回停止／解除スイッチの位置にかかわらず働きません。

【留意事項】

◆アウトリガ不使用の定格総荷重値は水平堅土上にクレーンを設置したときの数値です。路面が傾斜したり、軟弱地では定格総荷重値を満足しません。地盤の状況を考慮した上で安全な作業を行ってください。

車両静止時

警告

▲ 前方性能で作業が可能な範囲は、AMLに「前方位置シンボル」の矢印が点灯しているときのみです。点灯していない場合は「全周」性能になります。

▲ 前方で荷をつり、側方へ旋回するときは、必ず「全周」性能以内にしてください。

【留意事項】

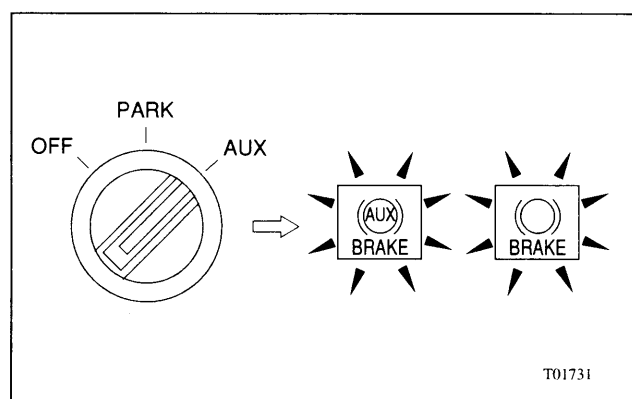
◆AMLの作業状態の登録時は必ず「オンタイヤ状態シンボル」を点灯させてください。

◆操作中は、AMLのモーメントバーグラフに注意してください。

クレーンはタイヤだけで支持しています。過負荷状態になり、クレーンの作動が停止しても、クレーンはつり荷の慣性で前後左右に振れます。

1. ブームを前方または後方に向けて、サスペンションロック（ダウン）操作を行い車体をいっぱいまで下げてください。

2. パーキングブレーキスイッチを「PARK」にしてブレーキ警告ランプの点灯を確認した後、パーキングブレーキスイッチを「AUX」にしてメータパネルの作業用補助ブレーキ警告ランプが点灯することを確認してください。

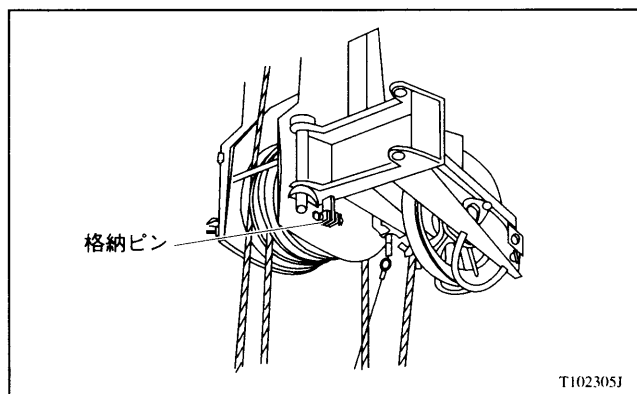


T01731

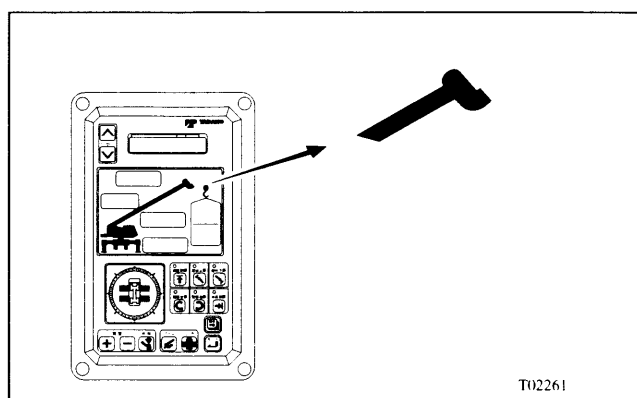
◆作業用補助ブレーキを使用するときは次のことを守ってください。

- エンジン停止中は使用しない。
- 使用中は車両近傍から離れない。
- 駐車用ブレーキとして使用しない。
- 1時間以上の長時間使用しない。

12. 格納ピンを入れてシングルトップ本体を固定してください。



13. AMLにブーム作業状態を登録してください。



14. 主巻きフックを巻き過ぎ状態にして、巻過防止装置が正常に働いていることを確認してください。

運転室外装備の使い方

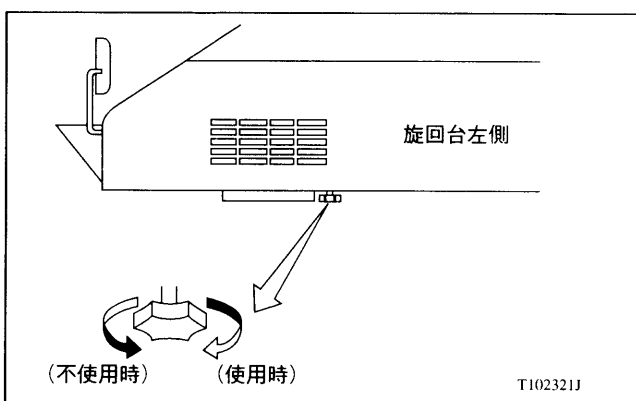
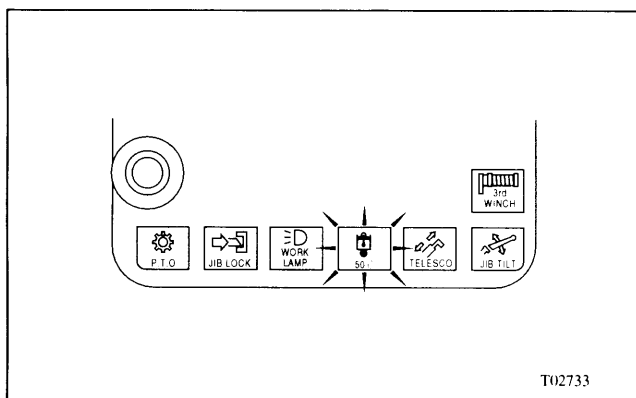
オイルクーラの使い方

メータパネルに作動油の温度が表示されます。作業中は作動油の温度が85℃を超えないようにしてください。

◆夏季および水切り作業等、油温上昇が予測される場合には、作業前にオイルクーラを作動させてください。

◆作動油の温度が50℃を超えると作動油温度50℃表示ランプが点灯します。作動油の温度が85℃を超えると、集中警告表示ランプに作動油温度85℃警告が表示されます。作動油温度85℃警告が表示された場合は、作動油の温度が下がるまで作業を中止してください。

◆オイルクーラを使用するときは、旋回台左側に取り付けられているコックを右側いっぱい締め込んでください。



点検項目	点検内容	始業 点検	日常 点検	定期点検				備考	
				100h	250h	500h	1000h		
				1カ月	3カ月	6カ月	1年		
動力伝達 装置	油量点検			○	○	●	●		
	油漏れ			○	○	●	●		
	クラッチ油圧点検	○							
	油温点検	○							
	トルクコンバータ 及び トランスミッション	ストレーナの点検、洗浄					○	*1	
	油の交換						○	*1	
	フィルタの交換						○	*1	
	トランスミッションの操作 機構のがた						○		
	分解点検整備							*2※	
	ロックアップ接、断回転数				○	○	○		
	プロペラシャフト 及び ドライブシャフト	連結部のゆるみ				○	●	●	
		プロペラシャフトの振れ				○	○	○	
		自在継手部のがた						●	
		スプライン部のがた						●	
		センタベアリング部のがた						●	
		グリース給脂			○	○	○	○	
		ねじれ及び損傷						●	
デファレンシャル 及び プラネタリー部	油漏れ			○	○	●	●		
	油量点検			○	○	●	●		
	オイル交換							*3※	
電気装置	始動装置	ピニオンのかみ具合				○	○		
	充電装置	充電作用			○	○	○	●	
	バッテリー	液量		●	○	○	●	●	
		液の比重				○	○	●	
		ターミナル部の接続状態				○	○	●	
電気配線	接続部のゆるみ及び損傷			○	○	○	●		

*1：最初1カ月その後1年毎に交換

*2：分解時

*3：最初1カ月その後2年毎に交換

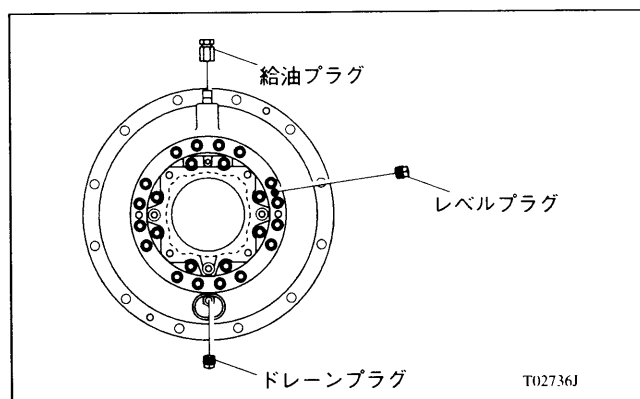
オイル交換

1. クレーンを平坦な場所に設置してください。
2. ドレインプラグの下に油受けを置いてください。
3. ドレインプラグ、給油プラグ、レベルプラグを取り外してオイルを抜いてください。
4. オイルが全量抜けた後、ドレインプラグを締め付けてください。
5. レベルプラグのねじ穴からオイルが流れ出るところまで、給油プラグねじ穴より新しいギヤオイルを給油してください。
6. 規定量給油した後、給油プラグ、レベルプラグを締め付けてください。

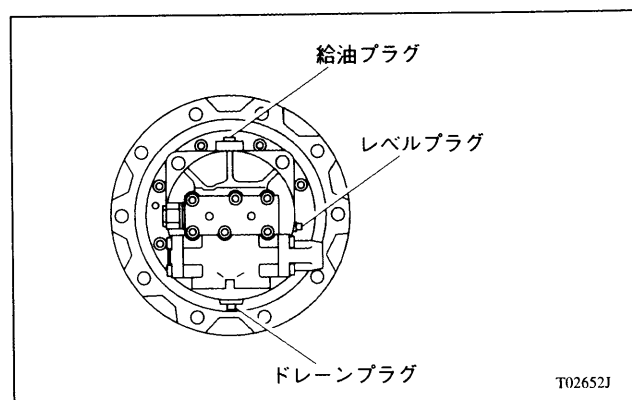
油量点検（第3ウインチ）

1. クレーンを平坦な場所に設置してください。
2. レベルプラグを取り外して油量を点検してください。プラグねじ穴の下面まで入っていれば適量です。不足していれば、給油プラグを取り外して給油プラグねじ穴より補充してください。

●自由降下装置無しの場合



●自由降下装置付の場合

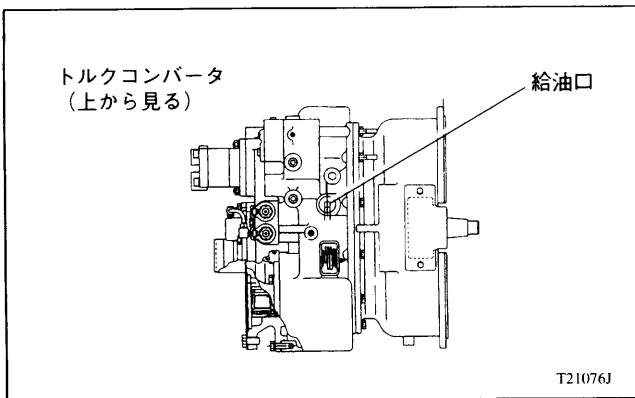
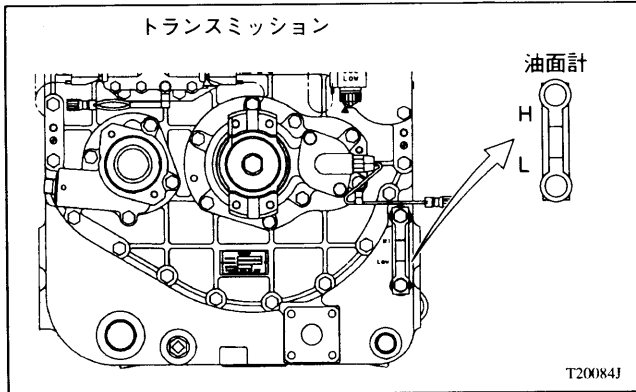


3. レベルプラグ、給油プラグを締め付けてください。

オイル交換

1. クレーンを平坦な場所に設置してください。
2. ドレインプラグの下に油受けを置いてください。
3. ドレインプラグ、給油プラグ、レベルプラグを取り外してオイルを抜いてください。
4. オイルが全量抜けた後、ドレインプラグを締め付けてください。
5. レベルプラグのねじ穴からオイルが流れ出るところまで、給油プラグねじ穴より新しいギヤオイルを給油してください。
6. 規定量給油した後、給油プラグ、レベルプラグを締め付けてください。

4. 油面が安定していることを確認してトランスミッションの油面計で油量を点検してください。「H」と「L」の中間位置と「H」の間に油面があれば適量です。不足していればトルクコンバータの給油口より補給してください。

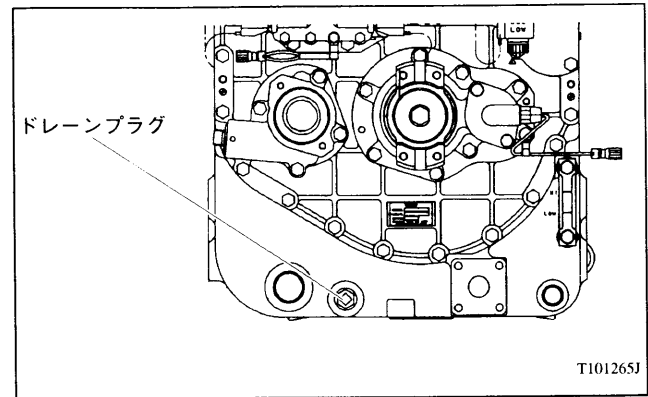


オイル交換

- ◆プラグを取り外すときは、ゴミ等が入らないようにプラグ周辺を清掃してから取り外してください。
- ◆オイル交換に合わせてストレーナの清掃およびオイルフィルタの交換を行ってください。

1. アウトリガを張り出してクレーンを水平に設置した後、給油しやすい方向にブームを旋回してください。

2. トランスミッション下部のドレーンプラグを取り外し、オイルを抜き取ってください。



3. ドレーンプラグを清掃して締め付けてください。

4. エンジン停止状態でトランスミッション油面計の「H」レベルまで、トルクコンバータ給油口よりオイルを給油してください。

5. PTOスイッチを「OFF」、シフトレバーを「N」にしてエンジンを始動し、アイドリング回転で運転してください。

6. エンジン始動により、オイルがトルクコンバータ内、配管、クーラおよびフィルタ等に送られるため、油面が次第に低下してきます。

油面の低下に合わせて徐々にオイルを補給してください。約5分間程アイドリング回転で運転し、油温が50℃のときに油面が規定範囲内で安定するまでオイルを補給してください。

油量点検（オイルリザーバ）

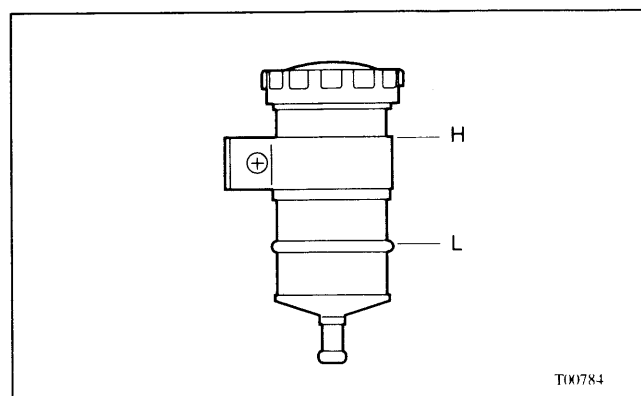
・・・「毎日」

オイル交換（オイルリザーバ）

・・・「2000時間または2年毎」

油量点検

オイルリザーバ（運転席前方）内の油量が適量であるか点検してください。HレベルとLレベルの間に油面があれば適量です。不足していれば、オイルリザーバのキャップを取り外して補充してください。

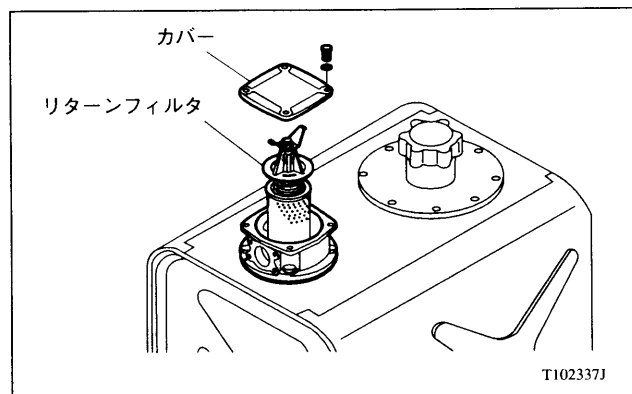


オイル交換

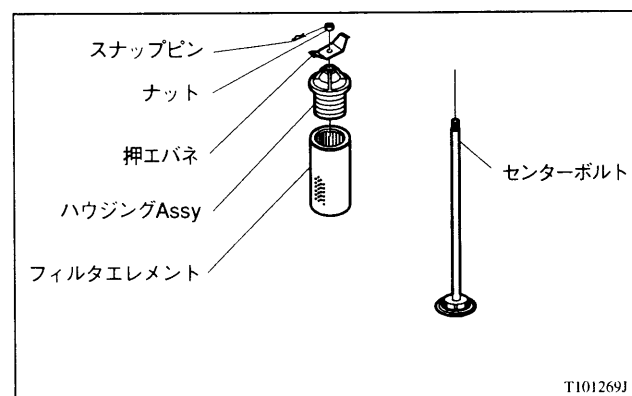
◆オイル交換は最寄りの当社指定サービス工場で行ってください。

リターンフィルタ（作動油タンク内）の交換・・・「500時間または6カ月毎」

1. 作動油タンク上面のカバーを取り外して、リターンフィルタを取り出してください。



2. リターンフィルタのスナップピンを抜き、ナットを取り外してください。



3. フィルタエレメントを新しいものに交換して、リターンフィルタを組み立ててください。

4. リターンフィルタをタンクに組み込み、カバーを取り付けてください。

電気システム

整備表

No.	項目	数量	点検間隔					
			日常	100 h	250 h	500 h		
				1カ月	3カ月	6カ月		
1	ヒューズの交換		溶断時					
2	バッテリー液の点検	2カ所			●			

ヒューズの交換・・・「溶断時」

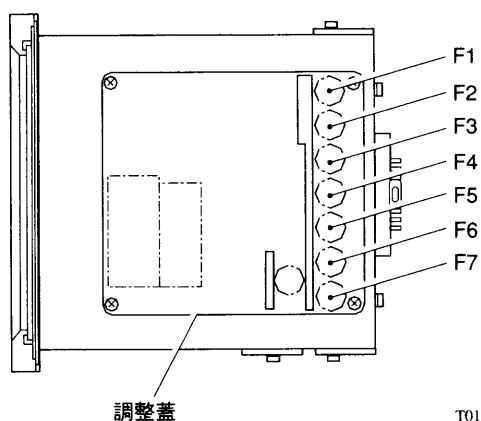
【留意事項】

◆ヒューズ交換時は短絡防止のため、スタータスイッチを「OFF」にし、バッテリーの(-)端子を外してください。

◆規定容量以上のヒューズを使用すると、短絡時に配線や電装品を焼損する恐れがあります。交換時には、規定のヒューズを使用してください。

(AML)

ヒューズはAML上部の調整蓋の内側に装着しています。



記号	名称	定格	使用回路
F1	MAIN	3A	メインヒューズ
F2	RLY1,2	3A	リレー出力1,2用
F3	RLY3,4	3A	リレー出力3,4用
F4	RLY5,6	3A	リレー出力5,6用
F5	RLY7,8	3A	リレー出力7,8用
F6	SIF 2	2A	SiF2SRC電源出力端子に対するヒューズ
F7	SIF 1	2A	SiF2SRC電源出力端子に対するヒューズ

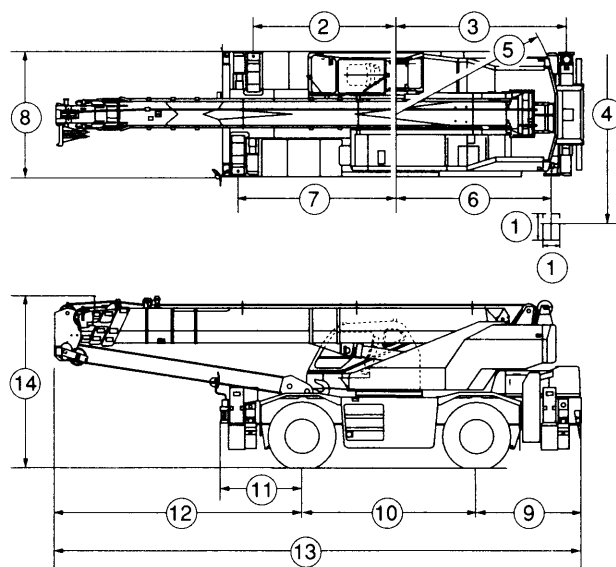
外形寸法

単位：mm

スペックNo	TR-350M-3-00103
①フロート寸法	330×490
②	3,027
③	3,748
④アウトリガ最大張出幅	6,700
⑤後端旋回半径	3,560 (*1)、3,620 (*2)
⑥	3,452
⑦	3,323
⑧全幅	2,750
⑨リヤオーバーハング	2,225
⑩軸距	3,800
⑪	1,760
⑫フロントオーバーハング	5,400
⑬全長	11,425
⑭全高	3,595

*1：自由降下装置無し仕様の場合

*2：自由降下装置付仕様の場合



T03203

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL